

博士学位論文公聴会

診療時のイヌの福祉に配慮した保定方法に関する研究

— 動物看護師の保定技術の向上を目指して —

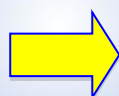
開催日時：2019年1月30日（水）12:50～13:50

開催場所：生物生産学部 C205

発表者：村尾 信義（生物圏科学研究科 生物資源科学専攻）



興奮した犬



適切に保定された犬

動物の診療に不可欠な「保定」技術

動物病院における動物看護師の役割の一つに、診療時や検査時における動物の「保定」があります。「保定」とは、動物が暴れたり動いたりしないように動物の体を安定的に保持する技術のことです。しかし用いる保定方法を誤ると、動物に過度な痛みやストレスを与えるだけでなく、動物や診療者が怪我をしてしまう可能性があります。そこで本研究は、特に犬を対象として、診療を受ける個体に過度なストレスをかけることなく、安全に体を保持できる技術について検討しました。

※本公聴会は、生物圏科学研究科の「共同セミナー」となります。

※問い合わせ先：谷田 創（内線：7974, htanida@hiroshima-u.ac.jp）